

1. 件名：原子力エネルギー協議会等との面談
2. 日時：令和4年11月11日（金） 17：10～18：10
3. 場所：原子力規制庁8階会議室
4. 出席者：（※一部テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁

原子力規制部原子力規制企画課

金城課長、藤森企画調査官、斎藤課長補佐、
松田課長補佐、佐藤係長

原子力エネルギー協議会（A T E N A）

副部長

関西電力株式会社 原子力事業本部 保全計画グループ マネージャー 他1名

三菱重工業 機器設計部 原子炉機器設計課 主席

5. 要旨：

○A T E N A等から、9月1日に実施した面談を踏まえ、中性子照射脆化の予測評価について、配布資料に基づき説明があった。

○原子力規制庁から、中性子照射脆化の予測評価に用いているデータについては、高照射量領域のものが少ないので、試験研究炉を用いて高照射量領域のデータを拡充するなど、将来に先んじてデータを拡充する計画を立てていくことが必要ではないかと伝えた。

○A T E N A等から、今回、原子力規制庁からご指摘いただいたような問題意識はもっており、本日の面談を踏まえて検討していく旨回答があった。

6. 配布資料：

資料1 PWR プラントにおける監視試験カプセルの追加の取り出し

以上